

*ESSO Formula-TOYOTA series2007*

第1戦 in 富士スピードウェイ



東 徹次郎

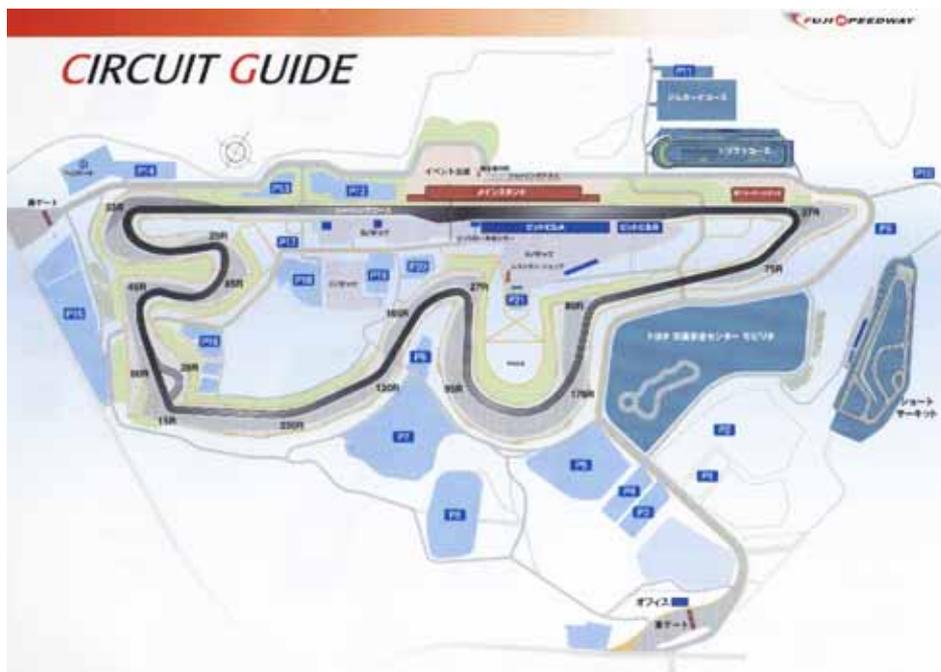
*Tohjiro Azuma*

## フォーミュラ・トヨタデビュー戦6位入賞

### はっきりと見えた自分への課題！！

#### ESSO・Formula-TOYOTA シリーズ 2007

- 開催日：2007年4月8日（公式予選4月7日）
- 場所：富士スピードウェイ（4.563 km）
- 天候：晴れ
- マシン名：ノームフェスト・ルボース FT
- Car No. : 62
- チーム：Le Beausset motorsports



## 公式予選 (2007/4/7/14:45~)

出走台数：16台 天候：曇り コース：ドライ ハーフウェット

どんよりとした曇り空の中、予選がスタートした。当初チームとの作戦では5分間 PIT で待機し、少しでもラバーグリップを利用できることを狙ったが、開始直後の雨により、最初からコースインする事になった。今回はフォーミュラ・トヨタデビュー戦という事もあって独特な緊張感があった。

フォーミュラ・トヨタのタイヤは FJ1600 とは異なり、タイムを出せるタイミングが限られている。私は3周目からアタックに入る事を狙うため、最初の2周は前後のタイヤのグリップ感を確認しつつ、前のマシンとの間隔を作る事に努めた。しかしその3周目に前方のマシンがコースオフして捨てた土をコース上に散らかしてしまい、アタックを阻まれてしまう形となった。

その後もアタックを狙っては前方でコースオフをする車にペースを乱されてしまい、タイヤのグリップを確保しつつも、結局アタックに入る事ができたのは6周目からだった。8周目にはネットコーナーでミスをしながらも自己ベストタイムを記録した。

しかしながら9周目に入ってセクター2を越えたあたりから急激に雨足が強まり、予選終了。不完全燃焼のまま予選を終えることとなった。アタック中に雨という不運もあったが、それ以上に8周目のネットコーナーでのミスによるタイムロスが悔やまれる。

決勝では以上のことを改善し、一つでも上の順位を狙っていく。

**予選結果：10位**

**タイム： 1 45 . 197**

## 決勝(2007/4/8/10:00~)

■ 出走台数：16台 天候：晴れ コース：ドライ

前日の夜に雨が降ったとは思えないほど好天に恵まれた決勝当日の富士スピードウェイ。フォーミュラ・トヨタのデビューレースの日を迎えた。10位という良くないポジションからのスタート、前半でどこまで上がれるかによってレースが決まる。

スタート前、坪松監督から 開幕戦でレースは荒れるだろうから、デビュー戦のお前は落ち着いていて自分のレースをしてこい とアドバイスを受けた。信頼しているからこそ自分にとって大きな意味を持っていた。

コースインラップ&フォーメーションラップとFJ1600のときと同様に、フロントタイヤを発熱させる事に集中した。そしてグリップを感じていたので、ブレーキバランスも半回転フロントに移してスターティンググリッドへ。

シグナルが点灯し、スタートしたが、クラッチを離すのが早過ぎて回転を落としてしまい1台に抜かれてしまう。それでも1コーナーのブレーキで直ぐに追いつき、100Rでインに並びかけヘアピンのアウトから抜いてポジションを元に戻した。1周目は10位でストレートを通過。

その後Aコーナー出口から合わせて100R70号車をインから交わし、前方の混乱を突いて8位に上がり、1台スピンアウトして7位へ上がる。そこからの前方の車とはつかず離れずという間隔でレース中盤を過ぎた。

しかしレース終盤熱ダレにより、フロントタイヤをロックさせたり第3セクターの走りが乱れるようになる。この状況に対してうまく対応できなかった事でタイムがばらついてしまい、前との間隔が広がってしまった。そして、そのままレースは7位でチェッカーを受けてデビュー戦を終えた。

\* レース後の再車検により6位に繰り上がった。

**決勝結果：6位**

**ベストタイム：1 45 . 397**

## 今回の反省

まず予選は時間を有効に使えなかったことが最大の反省点です。初めてのフォーミュラ・トヨタの予選という事もあって、慎重になりすぎてしまいました。

決勝での反省点はスタートです。今回クラッチをつなげる段階でミスをしてしまい、エンジンの回転を落としてしまったのは致命的でした。クラッチが弱い為に、ほとんどスタート練習が出来ないフォーミュラ・トヨタ。次回はこの失敗を必ず活かしていきます。

まだ私はフォーミュラ・トヨタの特性を活かした乗り方を出来ていません。FJ1600とは違い、タイヤの縦方向をしっかりと使わないと速く走れないという特性があるからです。むしろ横方向はほとんど使わないイメージと言っているくらいです。その乗り方がきちんと出来ていないからこそ、熱ダレを起こしてしまいタイムにばらつきが出てしまうのです。これは根本的なタイム差を縮める上で、最大の課題です。

次の鈴鹿はレースウィークまで走れないので、この反省をしっかりとイメージして修正し、次戦に活かしていきます。



## 今後の日程

第2戦	5月13日	鈴鹿サーキット
第3戦	7月1日	ツインリンクもてぎ
第4戦	10月6日	仙台ハイランドレースウェイ
第5戦	10月7日	仙台ハイランドレースウェイ
第6戦	10月28日	スポーツランド SUGO
第7戦	11月25日	富士スピードウェイ



## 最後に

今回も遠くから、たくさんの方々に応援に来て頂き誠に有難うございます。2007年引き続き参戦出来ているのも、自分を支援して下さっているスポンサーの方々や家族、そして応援して下さっている全ての方々のお陰です。

また、当日メールやお電話での応援も本当に心の支えになりました。有難うございます。

開幕戦は無事完走し、6位入賞を果たす事が出来ました。次戦は更なる上を目指します。

日々努力していきますのでこれからもご支援ご声援のほど宜しくお願い致します。

2007年4月8日

東 徹次郎